

## Ⅱ 労働者福祉事業

## Ⅱ 労働者福祉事業

### 1 労働災害に関する相談と休業補償給付の立替貸付

労働者が業務上の災害にあって療養のため休業を要する場合、多くは労働者災害補償保険法にもとづく休業補償給付金によって生活を維持することになる。

休業補償給付金の給付までには制度上日数がかかるため、生活に余裕や貯えのない日雇労働者にとって、深刻な生活問題となる。

センターでは労働災害について事後の手續など広く相談を受けているが、特にこうしたケースに対して給付金の立替貸付制度を設けている。

この事業は、資金面で大阪府の援助、手続き・指導面で大阪労働基準局と労働基準監督署の協力を得て実施している。

また、貸付金の回収は、各労働基準監督署より「受任者払い」の承認をうけて行い、あるいは一部「国庫送金」の形で行っている。

今年度、新規相談は185件、前年度比8.9%減、新規立替者数は88名、前年度比12.8%増となっている。その他の取扱状況は別表のとおりである。（表Ⅱ-1）

労災相談件数の減少は、長引く不況のため工事量及び求人低迷、安全対策の推進、経営上の問題から労災保険適用を避けようとする事業所側の事情等、労災件数の全国的な漸減傾向を反映しているものと思われる。また、労働者自身が、就労機会を逃すのを恐れ、少々のケガなら強く労災適用を申し出ないなどの状況もあるようである。そのような中で、相談者の切実な要求と、病院に協力をもとめる等の担当者の努力により、新規立替者数は若干増加した。

一方、事業所が労災として認めない、生活の援助もない等のため、労働基準監督署へ労働者が直接自主申告せざるを得ない等の難ケースや、事業所との交渉の結果、示談解決となったケース等、立替に至らなかった相談も多くあった。（表Ⅱ-6）

### 2 労働安全の取り組み

地区労働者の90%以上が就労する建設業は、労働災害の発生数が多く、死亡災害を含む重大災害も多い。労災係が休業補償の立替とケース・ワークを行った被災労働者の中には、障害を残して労働不能に陥ったり、就労を大幅に制限されるにいたった労働者も少なくない。一日中疼痛に悩まされる被災者もいる。負傷内容によっては被災者に深刻な影響をもたらすのが労働災害である。生活の不安定な地区労働者にとっては、特にその影響が大きいと言わねばならない。

一方、事業所にとっても、労働災害によって被る経済的損失は小さいものではない。

特に景気低迷期など工事の受注が減少するおりには、労働災害の発生が請負契約に直接ダメージを与えるなど、きびしい経営事情を訴える声で満たされている。

当センターは、約 1,700 所の登録求人事業所と 20,000 人を超える日雇労働者の接点に位置し、その双方とのコミュニケーションが可能である。この立場上の特性を活かして、地区日雇労働者の労働災害を少しでも減らしていきたいと考え、立替（被災）労働者からの聞き取り調査を基本とする労働安全の取組みを行ってきた。

### 1999(平成 11)年度の主な労働安全推進の取組み

- (1) 労働者向け啓発ポスターを寄り場内 7ヶ所に掲示した。
- (2) 「センターだより」11月号に労働者向け安全啓発の労災特集を掲載した。
- (3) 立替労働者「労働安全座談会」を10月27日に開催し、12名の参加があった。
- (4) 労災事例の聞き取り調査(87件)を行い、中間報告書(43事例)及び年間報告書(87事例)を作成した。

### 「立替にいたらなかったケースの状況」(1999年度内処理分 102件の分析)

(表Ⅱ-6)

#### (1) 相談延べ日数

相談延べ日数	件数
1～10日	71
11～30日	21
31～50日	3
51日以上	7
計	102

#### (3) 立替に至らなかった理由

理由	件数
解決扱い	62
本人来所せず(中止扱い)	40
計	102

#### (2) 相談回数

相談回数	件数
1～5回	80
6～10回	10
11～30回	7
30回以上	5
計	102

#### (4) 中止扱いとなった相談内容の内訳

内容	件数
労働基準監督署への本人申告	5
10号請求	3
再発・抜釘請求	3
私病による入院	2
事業所からの連絡	2
通勤災害・交通事故手続	1
負傷部位の因果関係不明	1
不明	23
計	40

表Ⅱ-1 1999(平成11)年度労災休業補償立替貸付関係実施状況表

労災休業補償給付立替状況表

	新規 相談	貸付労働者に係わる相談及事務手続き					一括貸付 の		労災関係 の		貸付労働者 以外の相談 事務手続 窓口事務		合計
		代理請求に係わる連絡調整事務					の 相談	の 相談	労災関係 の相談等	事務手続 の相談等	以外の 窓口事務		
		7号	8号	10号	その他	計							
4月	17	8	97	17	56	178	134	155	117	89	339	1,029	
5月	14	9	98	11	32	150	136	134	90	61	350	935	
6月	13	8	87	16	47	158	123	162	83	68	357	964	
7月	7	3	61	13	24	101	104	155	70	50	376	863	
8月	18	8	89	15	37	149	105	147	74	56	346	895	
9月	20	9	84	15	27	135	92	168	99	75	343	932	
10月	16	11	98	24	48	181	101	169	100	78	383	1,028	
11月	17	3	75	26	50	154	99	204	136	95	369	1,074	
12月	15	3	106	18	85	212	119	220	106	85	349	1,106	
1月	12	9	113	27	83	232	119	218	83	73	416	1,153	
2月	22	11	112	20	71	214	100	234	93	79	414	1,156	
3月	14	6	119	9	87	221	130	208	127	110	487	1,297	
合計	185	88	1,139	211	647	2,085	1,362	2,174	1,178	919	4,529	12,432	
前年度 合計	203	165	1,414	366	608	2,553	2,138	2,142	1,656	1,195	3,653	13,540	

	新規 貸付	貸付 打切	貸付 実人員 (継続)37	貸付 延日数	補償費 給付請求		
					7号	8号	10号
					4月	8	4
5月	10	9	50	1,176	2	53	5
6月	4	5	45	1,142	4	46	4
7月	6	7	45	1,187	0	46	2
8月	7	5	44	1,061	1	44	5
9月	9	8	47	1,215	1	43	4
10月	3	4	42	1,127	1	45	5
11月	8	3	46	1,205	1	39	1
12月	12	9	55	1,612	3	56	8
1月	5	8	51	1,228	2	55	4
2月	11	7	54	1,220	5	46	0
3月	5	3	52	1,355	4	51	2
合計	88	72	125	14,725	29	569	42
前年度 合計	78	104	141	17,424	37	742	59

表Ⅱ-2 1999(平成11)年度労災休業補償給付立替貸付状況

月	貸付状況						B 収入金額	C		差額預り金	D 差額預り金増減	E=B-C-D 財団回収金額	F=A-E 債権増減	債権残高	
	日々貸付		一括貸付		A計			差額支払		前年度繰越額				前年度繰越額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		件数	金額	8,137,043				7,221,882	
4月	314	5,933,000	36	798,000	350	6,731,000	11,528,483	44	5,971,090	8,176,881	39,838	5,517,555	1,213,445	8,435,327	
5月	308	5,808,000	34	761,020	342	6,569,020	11,630,716	31	3,924,184	8,958,509	781,628	6,924,904	-355,884	8,079,443	
6月	348	5,627,000	29	763,380	377	6,390,380	14,972,081	64	8,088,262	7,875,709	-1,082,800	7,966,619	-1,576,239	6,503,204	
7月	370	5,850,000	37	728,320	407	6,578,320	11,389,058	43	5,452,346	8,087,835	212,126	5,724,586	853,734	7,356,938	
8月	334	5,227,000	23	650,000	357	5,877,000	11,505,208	42	5,136,541	8,042,843	-44,992	6,413,659	-536,659	6,820,279	
9月	365	5,948,000	24	715,368	389	6,663,368	11,173,941	43	5,317,410	7,888,389	-154,454	6,010,985	652,383	7,472,662	
10月	303	5,512,000	40	953,025	343	6,465,025	11,435,362	45	4,970,603	7,383,283	-505,106	6,969,865	-504,840	6,967,822	
11月	321	5,910,000	29	710,510	350	6,620,510	12,126,345	44	5,530,531	7,933,874	550,591	6,045,223	575,287	7,543,109	
12月	387	7,758,000	28	867,000	415	8,625,000	12,027,629	37	4,749,311	8,214,674	280,800	6,997,518	1,627,482	9,170,591	
1月	351	5,920,000	42	1,105,418	393	7,025,418	15,218,663	52	7,154,018	8,030,955	-183,719	8,248,364	-1,222,946	7,947,645	
2月	402	6,074,000	31	817,615	433	6,891,615	13,613,773	50	5,089,970	8,867,855	836,900	7,686,903	-795,288	7,152,357	
3月	472	6,623,000	36	673,484	508	7,296,484	11,953,233	58	6,865,976	7,958,532	-909,323	5,996,580	1,299,904	8,452,261	
年度合計	4,275	72,190,000	389	9,543,140	4,664	81,733,140	148,574,492	553	68,250,242	7,958,532	-178,511	80,502,761	1,230,379	8,452,261	
	労働者福利厚生準備金繰入額									319,029	債務免除額			36,000	
										次年度繰越	7,639,503	次年度繰越			8,416,261
前年度計	5,190	85,689,000	552	19,051,319	5,742	104,740,319	194,832,803	669	89,112,340	8,137,043	-4,378,698	110,099,161	-5,358,842	7,221,882	

労災新規立替貸付者状況88名

(表Ⅱ-3)

		人	%
年 令	平均	52.1	
現在 扶養者有り		9	10.2
住 所	西成	77	87.5
	その他	11	12.5
部屋代 (平均)円	日払	1,443	
	月払	43,265	
雇用形態	日雇	55	62.5
	常用	33	37.5
安全教育	有	17	19.3
就労先 産業分類	建設	79	89.8
	運輸	2	2.3
	製造	5	5.7
	その他	2	2.3
負傷現場	大阪市内	26	29.5
	大阪府下	34	38.6
	近畿府県	22	25.0
	その他	6	6.8
負傷時刻	初~10	25	28.4
	10~12	14	15.9
	12~15	28	31.8
	15~17	19	21.6
	17~終	2	2.3
負傷部位 ※	手部	26	26.3
	足部	41	41.4
	頭首部	6	6.0
	腰部	7	7.1
	胸部	9	9.1
※	その他	10	10.1
傷 病 名 ※	挫傷	7	7.4
	切創	5	5.3
	打撲	9	9.6
	捻挫	2	2.1
	骨折	59	62.8
※	その他	12	12.8

※については重複有り

休業補償日額(円)	最 高	13,932
	最 低	3,510
	平 均	8,463

年齢分布

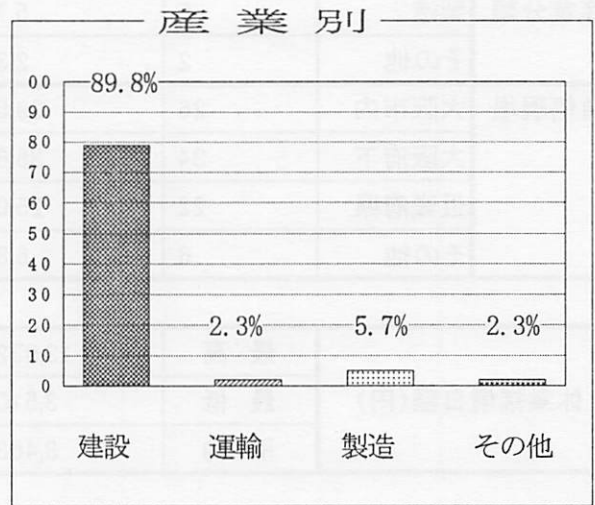
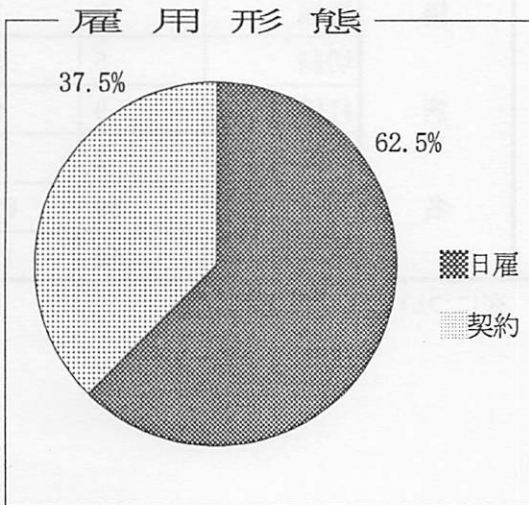
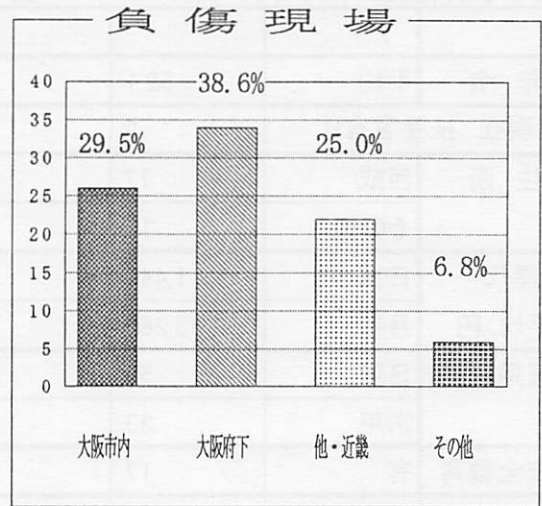
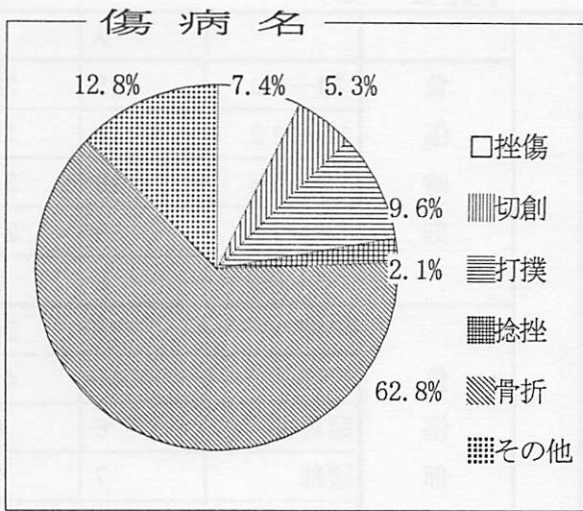
(表Ⅱ-4)

年 齢	人	%
~30	1	1.1
31~35	1	1.1
36~40	3	3.4
41~45	12	13.6
46~50	14	15.9
51~55	31	35.2
56~60	16	18.2
61~65	8	9.1
66~	2	2.3
合 計	88	100.0

最高年齢	70才
最低年齢	24才
平 均	52.1才

【新規立替者状況】

(図Ⅱ-1)



【立替打切者状況】 (72名)

表Ⅱ-5

負傷部位 ※						受給日数		
手 部	足 部	頭 首 部	腰 部	胸 部	そ の 他	最 高	609	
20	32	3	2	9	7	最 低	2	
傷病名 ※						平 均	196	
挫 傷	切 傷	打 撲	捻 挫	骨 折	そ の 他	延 日 数	14,147	
5	3	6	3	48	12	障 害 補 償 請 求 者 数		
							38名 (打切者の52.8%)	

※については重複有り

### 3 技能資格取得促進

地区の労働者の中には、現場経験が豊富で、様々な技能を有している人が多くいるが、資格を取得していないため、就労に困難をきたしている。

この事業は、技能資格を取得することにより就労の安定を図るため、1993（平成5）年度よりガス溶接、アーク溶接を行い、1995（平成7）年度より車両系技能講習（整地他用及び解体用）を行っており、今年度60人が修了した。内訳はガス溶接に20人、アーク溶接に20人、車両系技能講習では「整地他用」10人と「解体用」10人が修了証を取得した。事業開始以降7年間で修了証の取得者は延べ391人に達している。（表Ⅱ-8）

### 4 医療相談

医療を求める労働者に対し、傷テープの配布、軽微な外傷の処置を行うとともに、専門的な診療の必要なものは大阪社会医療センターに診療の依頼と、他機関への案内を行ってきた。

傷テープの配布及び軽微な処置は14,085件、大阪社会医療センターへの診療依頼は9,010件、救急車による措置45件、他機関案内799件、計23,939件であった。

（表Ⅱ-7）

### 5 労働者援助

#### (1) 短期宿泊援助

仕事につけなかったり、働いた賃金が受け取れないなどの事情で困っている労働者に対し、宿泊と食事を提供するため大阪自彊館に依頼している。本年度は相談数3,556件、措置依頼が1,541件、宿泊件数1,535件であった。なお、平成11年8月2日から大阪府簡易宿所環境衛生同業組合の依頼により1日10名を限度に簡易宿泊所へ無料紹介を行った。3月末までに宿泊紹介件数は527件であった。

#### (2) 疾病援助

不幸にして入院を余儀なくされるなど困窮している労働者に対し、物品の援助を349件行った。

#### (3) 生活援助

就労・賃金受領・労災手続き等のための交通費に困っている労働者や、その日の食事代や宿泊費が不足している労働者に対し、実費程度の少額の金銭援助を行った。本年度は相談数539件、措置177件であった。（表Ⅱ-7）



#### (4) 労働関係相談・生活身上相談・その他の相談

労働関係相談は、就労するために必要な事業所の住所・電話番号調べ、電話の貸付や雇用保険の相談数が 3,039 件、技能講習の情報提供 1,119 件、免許証・修了証の再交付の援助相談が 549 件あり、再交付の請求手続は 83 件行った。

生活身上相談は合計 5,101 件であった。住民登録のための相談を 1,486 件、同請求手続を 662 件行った他、健康保険・郵便物の取扱い・住宅公団の入居相談（単身者用）を含む所得証明・尋ね人・落とし物の相談等を 3,615 件行った。

住民登録の相談は、これが雇用保険手帳の取得条件であるために行われる場合がほとんどであるが、ケースによっては、前住所地へ転出証明を請求できないこともある。職権消除（移転先不明で登録が抹消され、本籍地へ戻されるもの）されておれば、戸籍抄本と附票の取り寄せが必要となり、失踪宣告されていると裁判所等での復籍手続が求められる等の難ケースもあった。

健康保険の相談では、毎月の資格確認のあとで「遠隔地の就労先へ保険証を送って欲しい」という要望が広がっており、本年度は 309 件あった。

その他の相談は「他施設・機関に対する不満を伴うもの」から「針と糸を貸してくれ」「ティッシュをくれ」「単身者住宅の空き家情報を知りたい」など細々した依頼のほか、飲酒者対応（887 件）を含めて 5,069 件であった。

今年度は花王販売（株）より石鹸、シャンプー、カミソリの寄贈があり、洗面セットとして短期宿泊紹介者等に生活用品援助として支給した。12 月末から 3 月末までに支給した件数は 754 件であった。（その他の件数を含む）（表Ⅱ-9）

## 6 労働者福利厚生

恒例の「たそがれコンサート」を 9 月 8 日（水）に三角公園で開催した。10 年目になる府立淀川工業高等学校吹奏楽部を招いての演奏会は、地区労働者が高校生と交流する場ともなり、すっかり定着している。その日約 1,500 人の労働者が集まった。

11 月 8 日（水）には、44 名の参加で「将棋愛好者のつどい」を開いた。和気あいあいのうちに勝ち抜き戦がくりひろげられた。森六段（日本将棋連盟）の指導対局も恒例になり、多面打ちで熱戦に持ちこむ参加者もあった。

夏（8/16～21 日の 6 日間）、冬（12/27・28、1/5・6 の 4 日間）シャワールームの

無料開放に協力し、タオル、石鹸、カミソリを給付した。

## 7 広報・啓発活動

求人情報や労働・健康知識の普及、「労災予防」の特集、さらには労働者の生の声を広報紙「センターだより」に掲載し、毎月 2,000 部を作成し、労働者や求人事業所に配付した。

他に、仕事や生活に役立つ「労働者便利帳」を 5,000 部発行した。

## 8 日雇労働者福利厚生措置事業

あいりん地区日雇労働者の福祉の増進を図るために本年度は、夏期に 16,900 円を 12,810 人に支給し、冬期に 18,400 円を 12,648 人に支給した。

平成11年度(1999年度)医療、緊急措置相談状況表

(表Ⅱ-7)

	医療相談						緊急措置相談								
	簡易措置		診療 依頼	他機関 案内	救急車 依頼	計	短期宿泊				簡宿 紹介	疾病援助 措置	生活援助給付		
	傷テープ	処置					相談	依頼	宿泊	返戻			相談	措置	返戻
4月	1,037	11	848	61	2	1,959	539	153	150	106		17	52	22	23
5月	926	14	807	49	1	1,797	627	132	132	61		15	39	18	1
6月	1,079	17	862	62	5	2,025	440	147	146	62		15	50	26	7
7月	1,201	20	841	45	1	2,108	202	123	123	84		16	38	18	4
8月	1,149	20	739	74	0	1,982	149	116	115	86	23	14	45	25	10
9月	1,028	27	671	56	8	1,790	207	129	140	106	60	10	38	11	11
10月	1,174	39	715	66	7	2,001	178	120	119	91	48	36	63	13	11
11月	1,313	31	708	74	1	2,127	169	119	115	92	53	54	51	12	6
12月	1,407	14	670	82	8	2,181	146	95	95	92	85	45	54	5	14
1月	941	10	810	101	4	1,866	373	130	127	106	147	75	44	7	4
2月	1,113	32	633	64	5	1,847	275	135	132	109	46	43	34	9	8
3月	1,442	40	706	65	3	2,256	251	142	141	115	65	9	31	11	10
合計	13,810	275	9,010	799	45	23,939	3,556	1,541	1,535	1,110	527	349	539	177	109
前年度計	93,856	195	9,474	1,120	30	104,675	5,363	1,584	1,556	889		299	855	361	142

※6月短期宿泊措置 146は5月修正分-1のため(147-1)

※簡易宿泊所への紹介は無料。(8月2日より実施)

平成11年度（1999年度）技能講習実施状況表

（表Ⅱ－8）

	ガス溶接				アーク溶接				車輛系建設機械 「整地他用」				車輛系建設機械 「解体用」				備 考
	申込	選考	受講	修了	申込	選考	受講	修了	申込	選考	受講	修了	申込	選考	受講	修了	
4月																	
5月	15	15			15	15	13	13									アーク溶接（学科）2名が受講せず
6月			12	12					3	3	2	2	6	6			ガス3名受講せず。整地1名辞退
7月															5	5	車両系（解体）1名受講せず
8月																	
9月																	
10月									2	2	2	2	3	3			
11月	17	8			17	7									3	3	
12月			7	7			7	7									ガス1名受講せず
1月									4	4	(4)		5	2			車両系（整地）の実技は2/1
2月	5	1	1	1					2	2	6	6			2	2	
3月																	
合計	37	24	20	20	32	22	20	20	11	11	10	10	14	11	10	10	受講( )は月をまたぐ
前年度	22	22	20	19	36	21	20	19	10	10	10	10	19	18	17	17	
年度計画	60																

平成11年度(1999年度)労働関係、生活・身上相談措置状況表

(表Ⅱ-9)

	労働関係相談							生活・身上相談											泥酔ト ラブル	その他
	就労 関係	雇用保険		技能講 習案内	修了証再交付		計	戸籍・住民票		健康保険		郵便物 受渡	所得 証明	尋ね人	落し物	計				
		相談	手続		相談	手続		相談	手続	相談	手続						相談	送付		
4月	145	82	0	84	26	2	337	2	141	83	68	32	260	4	15	3	491	115	79	184
5月	134	58	1	125	36	0	353	1	111	58	49	16	216	4	6	16	402	74	74	203
6月	164	72	2	124	50	3	410	5	134	58	71	23	251	6	12	7	481	81	73	230
7月	129	65	1	70	40	7	304	8	109	59	64	19	219	2	8	19	421	78	39	198
8月	173	72	1	64	44	9	353	10	115	47	78	19	216	3	5	9	426	66	65	287
9月	150	67	0	80	60	11	357	11	125	57	82	36	206	2	6	9	430	93	71	235
10月	190	74	2	130	64	19	458	21	119	51	81	32	216	1	10	11	438	83	89	260
11月	225	90	1	125	52	5	492	6	135	50	71	23	199	4	12	16	437	73	74	251
12月	190	78	4	66	39	3	373	7	105	40	65	19	186	5	18	8	387	59	76	408
1月	236	70	1	103	54	8	463	9	135	53	63	14	166	0	15	9	388	67	82	749
2月	182	78	1	68	33	6	361	7	118	51	80	38	158	3	12	6	377	89	77	547
3月	231	84	1	80	51	10	446	11	139	55	86	38	175	7	9	7	423	93	88	630
合計	2,149	890	15	1,119	549	83	4,707	98	1,486	662	858	309	2,468	41	128	120	5,101	971	887	4,182
前年度計	2,128	1,027	22	975	581	129	4,711	151	1,505	716	950	342	2,961	34	118	145	5,713	1,058	982	2,879

★「郵便受渡し」は郵便物受理数。★「所得証明」には公団単身者住宅申込時のものを含む。★「落し物」については届け物受理数。

雇用保険業務取扱状況【あいりん労働公共職業安定所】(表Ⅱ-10)

年度	項目 新求職者数	規 求職者数	年度末有効 求職者数	保険金給付実人員 (各月合計)
1994(平成6年)	1,853		13,468	99,847
1995(平成7年)	2,291		14,530	113,772
1996(平成8年)	2,282		15,130	118,659
1997(平成9年)	2,148		15,032	116,348
1998(平成10年)	2,081		14,257	110,803
1999(平成11年)	2,215		13,932	112,939

健康保険取扱状況【玉出社会保険事務所】(表Ⅱ-11)

年度	被保険者手帳				年度末 有効手帳	受給資格者証				受給資格 確認	傷病手当 件数
	新規	更新	再交付	計		新規	更新	再交付	計		
1994 (平成6年)	1,230	5,249	1,245	7,724	8,414	668	4,843	891	6,402	37,907	996
1995 (平成7年)	1,626	5,459	1,296	8,381	9,009	1,058	5,048	1,029	7,135	41,919	755
1996 (平成8年)	1,668	5,816	1,174	8,658	9,164	1,025	5,352	943	7,320	44,221	859
1997 (平成9年)	1,438	5,631	1,052	8,121	8,768	919	5,077	775	6,771	43,147	898
1998 (平成10年)	1,258	4,880	918	7,056	7,812	736	4,531	647	5,914	39,789	863
1999 (平成11年)	1,233	4,789	856	6,878	7,563	727	4,340	628	5,695	39,106	468

日雇労働者福利厚生措置事業状況(表Ⅱ-12)

年度	夏 期			冬 期			合計支給総額
	支給金額	支給人員	支給総額	支給金額	支給人員	支給総額	
1994 (平成6年)	15,100	11,302	170,660,200	16,800	11,795	198,156,000	368,816,200
1995 (平成7年)	15,700	12,477	195,888,900	17,400	12,943	225,208,200	421,097,100
1996 (平成8年)	16,300	13,212	215,355,600	18,000	13,553	243,954,000	459,309,600
1997 (平成9年)	16,900	13,735	232,121,500	18,400	13,744	252,889,600	485,011,100
1998 (平成10年)	16,900	13,494	228,048,600	18,400	13,235	243,524,000	471,572,600
1999 (平成11年)	16,900	12,810	216,489,000	18,400	12,648	232,723,200	449,212,200

# センターだより

三角公園にて二晩、楽しい催しがありました。九月六日は、初めての「釜ヶ崎ボランティア落語会」。

八日は第一八回「たそがれコンサート」。

どちらも約一五〇〇人の観客が集まりました。残暑と不景気のなかですが、三角公園は元気の出る、楽しい空間になりました。



「よかった。涙が出た。人がこんなにも多いのに静かなのは、みんなが聞きほれている証拠。音が身にしみた。寒くなる前にもう一度来てほしい」(江藤さん・54才)

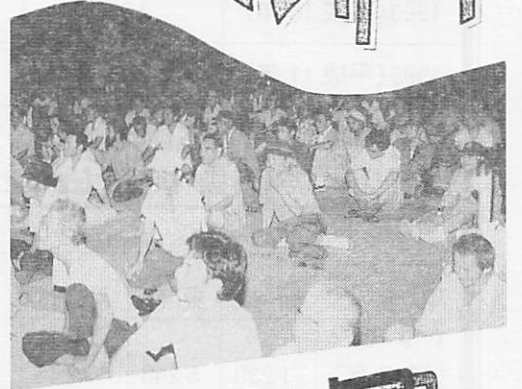
### ●感想●

「演奏者のなかに自分の姪が入っているから楽しみや」(山本さん・54才)

「淀川工業高校は最高や。プロ級の腕前や。オレもバンドやとったからわかるけど、指揮者もたいしたもんや」(三好さん・50才)

「三年続けて聞きに来ていいる。唱歌には少し目がウルウルしてしまつた。拍手、手拍子で手のひらがあかくなったで。今年はずっと時間が短かったのところがうか？女生徒の歌もなかったし。甲子園の歌もなかったし。一度、プラスチックの大会で演奏するような曲をきかせてもらえんかなあ。ところで仕事は増えんのやろうか？」(田中さん・58才)

## たそがれコンサート



## 三角公園に

## さわやかな風



このイベントは今年初めて企画されたもので、桂文福さん、笑福亭松枝さん、桂福軍さんらプロの落語家たち八名が地区の労働者を落語の笑いで励ましたい、とボランティア出演しました。

だし物は落語だけでなく、民謡あり、河内音頭ありで、

備前生きたい  
釜ヶ崎落語会

●桂文福さんの話  
「野外で、しかも大勢の人が、ほんまに熱心に聞いてくれた。うれしかったねえ。他の落語家たちも自信がついたっていつているよ。来年もぜひやりたいねえ」



公園西側では炊き出しがありました。この日使われた米は一八〇キロ。一方で落語会に寄せられたカンパの米は二〇〇キロ。「これだけの量があっても一食分にしかならないんやなあ」と主催者の小林さん(笑工房)がしみじみと言っていました。

会場はおおいに盛り上がりました。終わってから数名の方に感想を聞いてみました。

「たいへん面白かった。また続けてほしい」(永井さん・65才)

「今回が初めて？けつこう面白い。もともと落語好きやし」(金田さん・53才)

8月の求人数		対前月増減比	対前年増減比
現金	60,414	8.3	24.4
契約	30,508	7.1	67.3
(延べ)	(内、センター窓口分) 6,828	7.5	56.8
高齢者清掃紹介数		1,544人	

暑かった夏の日々も遠ざかりつつあります。働きやすい季節に仕事が増えれば良いのですが、先行きはまだハッキリしません。

八月は前年に比べて現金求人二四、四%、契約求人六七、三%の増加となりました。

現金求人は三カ月連続して去年を越えましたが一昨年の数には届かない状況です。



# 高齢者清掃

## 市有地の除草等作業

### スタート

取って束にくくり、それを一か所にまとめておいて、午後からやって来る収集車に積み込むというものでした。太く大きな草は、作業責任者の方が草刈り機で刈りますが、ほとんどは皆さんが手に持った鎌で刈り取ります。作業責任者の方に、皆さんの仕事の様子を聞いてみると

「みんな、今まで厳しい現場を経験してきているため、ゆっくりやってくださいよ」と言っても、自然と仕事の手が早くなるので、予定がすぐに終わってしまい、プリーキをかけるのが大変です」とのことでした。

七月五日から新しく始まった、大阪市の市有地の除草等の作業の取材に行ってきました。梅雨明け宣言がされた七月二十二日の現場は、JR阪和線の我孫子町駅近くの、住吉郵便局前にあるフェンスに囲まれた空き地です。じっとしていても汗ばんでくる強い日差しの日でした。現場の真ん中に一本だけ立っている木の陰に、シートが敷かれていて、皆さんが休憩を取っておられるところでした。今日の作業は、空き地内の雑草を刈



▲除草作業中の風景

### 緑のなかで 気持ちいい

皆さんに作業の内容について聞いてみたところ、「わしはこの仕事好きや、前によくこんな仕事をしてたし、緑のなかで気持ちいい。ただ、トイレがもう少しきちんとしていただらいいんだけど」

「センター内の仕事と違って、他人に気兼ねせんていい」

「暑いといっても、道路清掃も、センター内も暑いのは一緒や、とことん汗を流してあとのビールが美味いで」と好評(取材へのお世辞を抜きにしても)のようでした。また、「せめて、こんな仕事に週に一回でもあればいいのに」

「大阪の町は汚れている。わしらにもっと仕事を出してくれたら、もっときれいになってわしらの生き甲斐にもなるのに」

等、高齢者清掃に対する要望もたくさん聞かせていただきました。

### 投稿

宮崎の浜辺をいかに  
過去は戻らず日南の海  
(光本謙治)

汗ぬぐい 一雨くれと  
仰ぐ空  
(釜さきり)



## たそがれコンサート

日時 9月7日(火) 午後6時半～

場所 三角公園

演奏 淀川工業高校吹奏楽部

※雨天のときは9月8日(水)

### およびだし

左記の方は労働相談係までおこしく下さい。

大岡 玉喜	河原 龍平
河野 三千洋	祝 美佐雄
原田 尚之	宮内 好輝
松葉瀬 允	山下 宏
富山 嘉信	鈴木 良夫
北川 顕裕	福田 照男
山下 政男	大沢 幸司
秋山 浩	(敬称略)

### 釜ヶ崎日誌

7/5 ●高齢者清掃で大阪市の有地の除草等作業開始

7/24・25 ●センターでソーメン代支給。(二六九〇〇円)

### ソーメン代最終支給

8月23日(月)

11:00～17:00

地下鉄中央線大阪港駅下車  
港湾労働会館

Tel. 6572-2105

### たすね人

家族他から連絡が来ています。労働福祉係までご連絡下さい。

芝野 博文(京都)	29
宮田 耕平(滋賀)	53
松本 武( )	( )
上田 一男(鹿児島)	46
大村 高雄(徳島)	64
橋田 末光(兵庫)	49
太宰 英晴(熊本)	69
西野 正洋(大阪)	32
島添 徳栄(沖縄)	36
浅田 修(石川)	49
高木 四郎(愛知)	48
降矢 芳久(京都)	51
山本 勤市(大阪)	60
古沢 真也(愛媛)	28
白土 三郎(京都)	45
山原 慎二(兵庫)	66
嘉手刈秀雄(沖縄)	66
宇山 正男(徳島)	52
岩下 静雄(鹿児島)	56

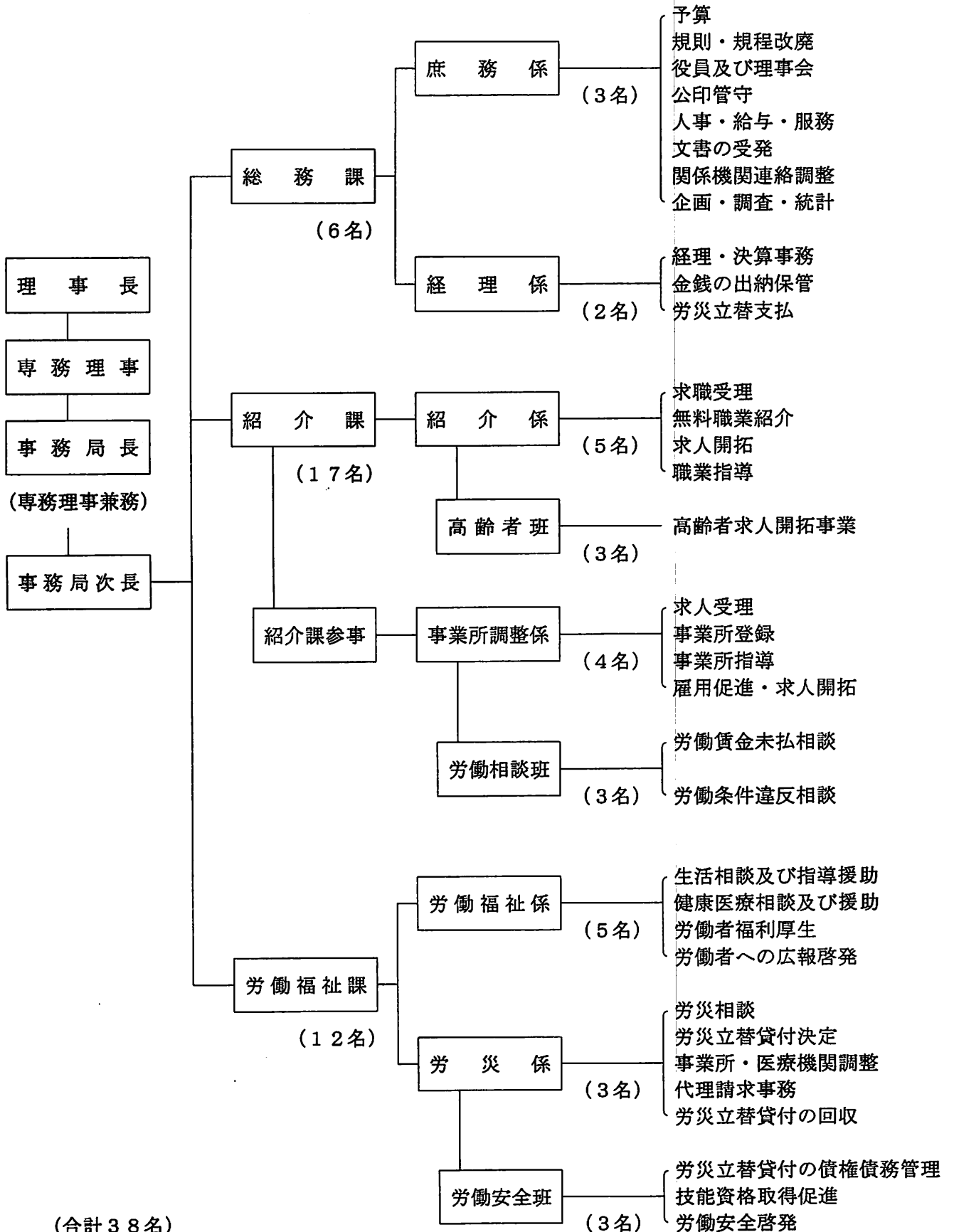
〔3月4日(敬称略)〕  
〔8月15日受付分〕



# 組 織 図

2000 (平成12) 年4月13日現在

(分担事務)



# 沿 革

1961 (昭和 36) 年	8 月 1 日	釜ヶ崎事件
1961 (昭和 36) 年	9 月 1 日	大阪府労働部西成分室開設
1962 (昭和 37) 年	9 月 28 日	無料職業紹介事業許可 (労働省収職第 1420 号)
1962 (昭和 37) 年	10 月 1 日	財団法人西成労働福祉センター設立
1962 (昭和 37) 年	12 月 17 日	第 1 回事業主懇談会
1963 (昭和 38) 年	6 月 10 日	求職の登録制度開始
1964 (昭和 39) 年	9 月	日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
1965 (昭和 40) 年	4 月	日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
1966 (昭和 41) 年	4 月 1 日	労災立替貸付業務開始
1966 (昭和 41) 年	6 月	釜ヶ崎を「あいりん地区」と呼称
1970 (昭和 45) 年	10 月 1 日	あいりん総合センター開所 (事務所移転)
1970 (昭和 45) 年	12 月 30 日	求職の登録制度廃止
1972 (昭和 47) 年	8 月 1 日	大阪府労働部に特別対策室設置
1974 (昭和 49) 年	6 月 28 日	事務局組織改正 (3 部制を 4 課 6 係制に) 労働相談窓口専門化
1975 (昭和 50) 年	8 月	日雇労働者福利厚生措置、財団で取扱開始
1976 (昭和 51) 年	11 月 1 日	事業所登録制度始める
1977 (昭和 52) 年	11 月 28 日	第 1 回就労正常化促進週間実施
1978 (昭和 53) 年	1 月 30 日	「センターだより」創刊
1978 (昭和 53) 年	6 月 12 日	事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
1980 (昭和 55) 年		「労働者便利帳」発行
1981 (昭和 56) 年	3 月 5 日	「将棋愛好者の集い」を開催
1981 (昭和 56) 年	6 月	窓口紹介、集中公開方式始める
1981 (昭和 56) 年	9 月 3 日	第 1 回たそがれコンサート開催
1983 (昭和 58) 年	5 月 18 日	事務局組織改正 (4 課 8 係) 事業所係、労働相談係設置
1989 (平成元) 年		日雇 (現金) 求人数センター発足以来最高の年に
1991 (平成 3) 年	4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班)
1993 (平成 5) 年		技能講習 (ガス溶接、アーク溶接) 開始
1994 (平成 6) 年	11 月	特別清掃事業実施 (大阪府・市)
1995 (平成 7) 年		技能講習 [車両系 (整地、解体)] 開始
1997 (平成 9) 年	4 月 1 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 2 班) 紹介課高齢者班設置、労働福祉課労災係管理班廃止
2000 (平成 12) 年	4 月 13 日	事務局組織改正 (3 課 6 係 3 班) 労働福祉課労働安全班設置

守 る う 人 権

明 る い 社 会

経 験 豊 かな 労 働 力

高 齢 労 働 者 の 雇 用 は セ ン タ ー へ

財 団 法 人 西 成 労 働 福 祉 セ ン タ ー

〒557-0004 大 阪 市 西 成 区 萩 之 茶 屋 一 丁 目 3 番 4 4 号

求 人 : 06-6632-3200 労 働 相 談 : 06-6633-7998

労 働 福 祉 : 06-6641-0296 労 災 相 談 : 06-6634-6535

総 務 : 06-6641-0131 F A X : 06-6641-0297